

ICT活用における効果的な 指導例について

～ICTを使ってアナログ（声掛け等）の質向上～

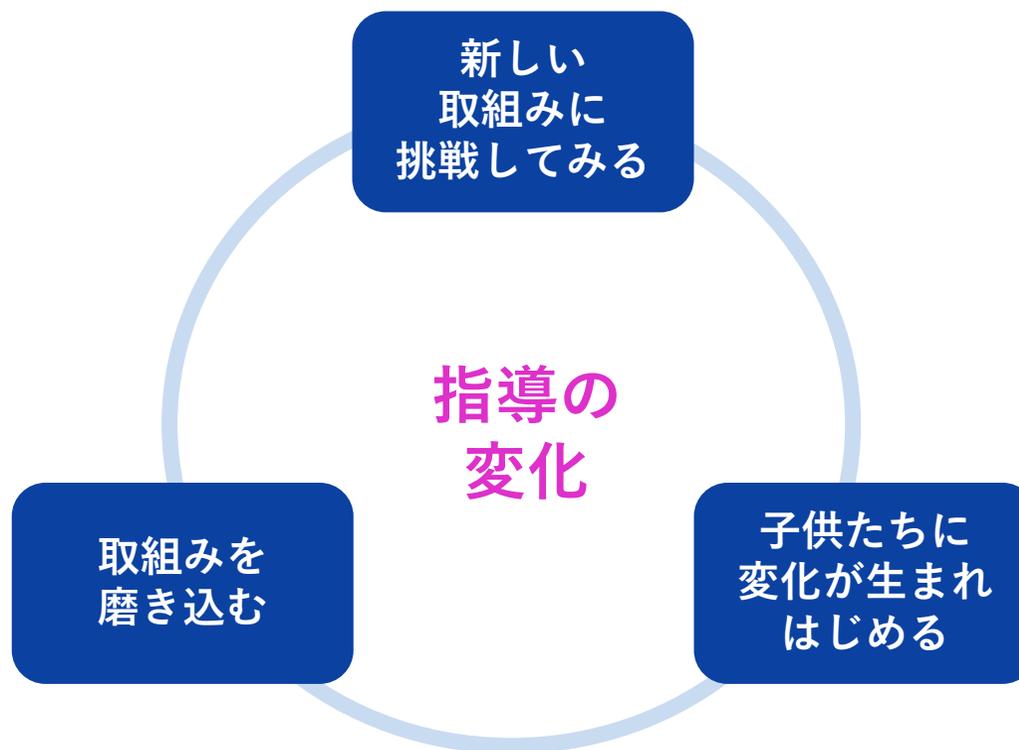


株式会社リクルート
まなび教育支援Division
公教育支援推進部

1. ICTを有効活用される先生の共通項について
2. 事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について
3. 事例：ICTの具体的な活用事例について

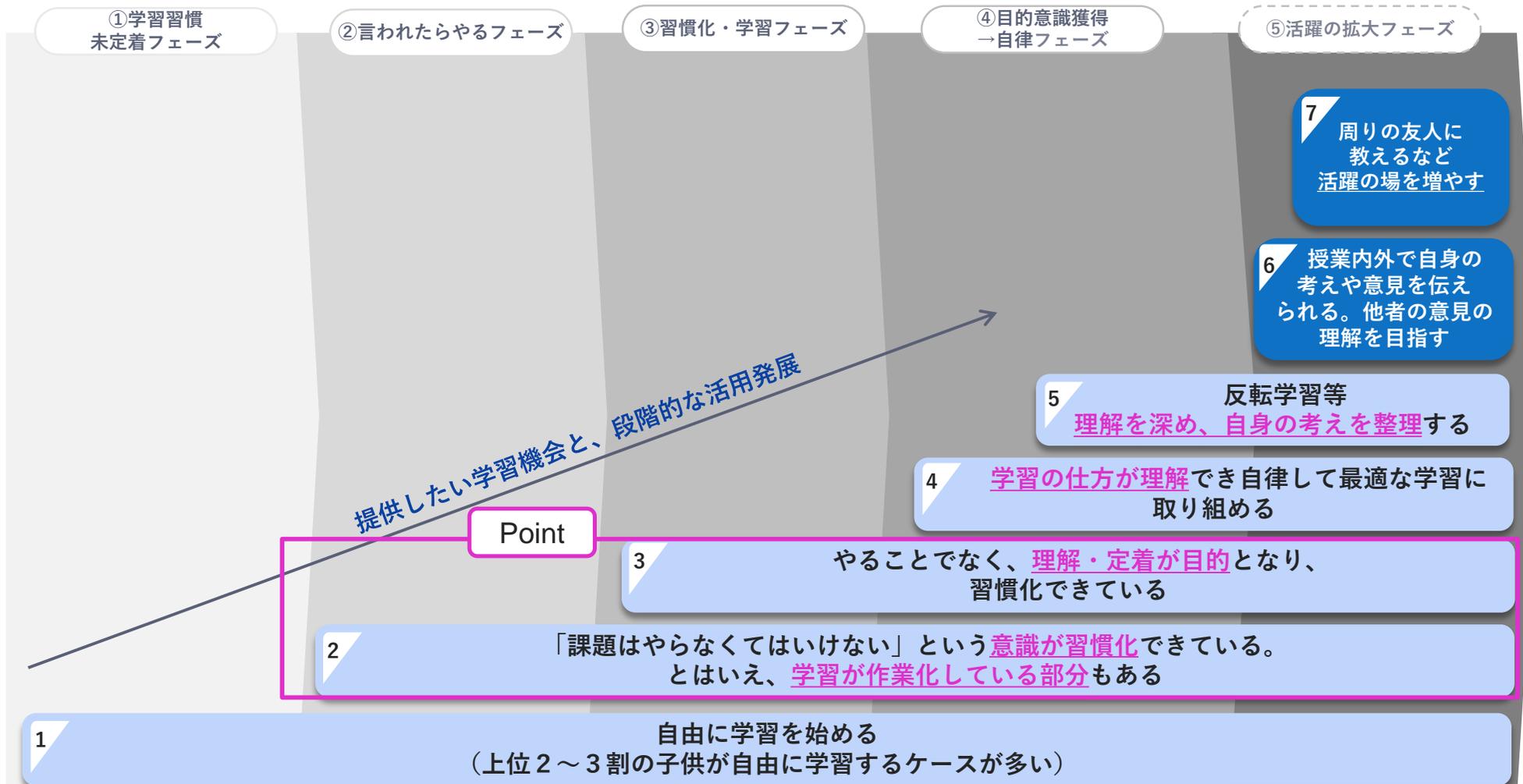
ICTを有効活用される先生の共通項について ICTの有効的活用に向けて

弊社が活用伴走させていただく中で、先生方のご指導に良い変化が生まれている状況を共有いただいています。新しい取り組みを実施された際に、子供たちの状況に合わせて磨き込むことで、子供たちにとって良い変化を生じさせています。



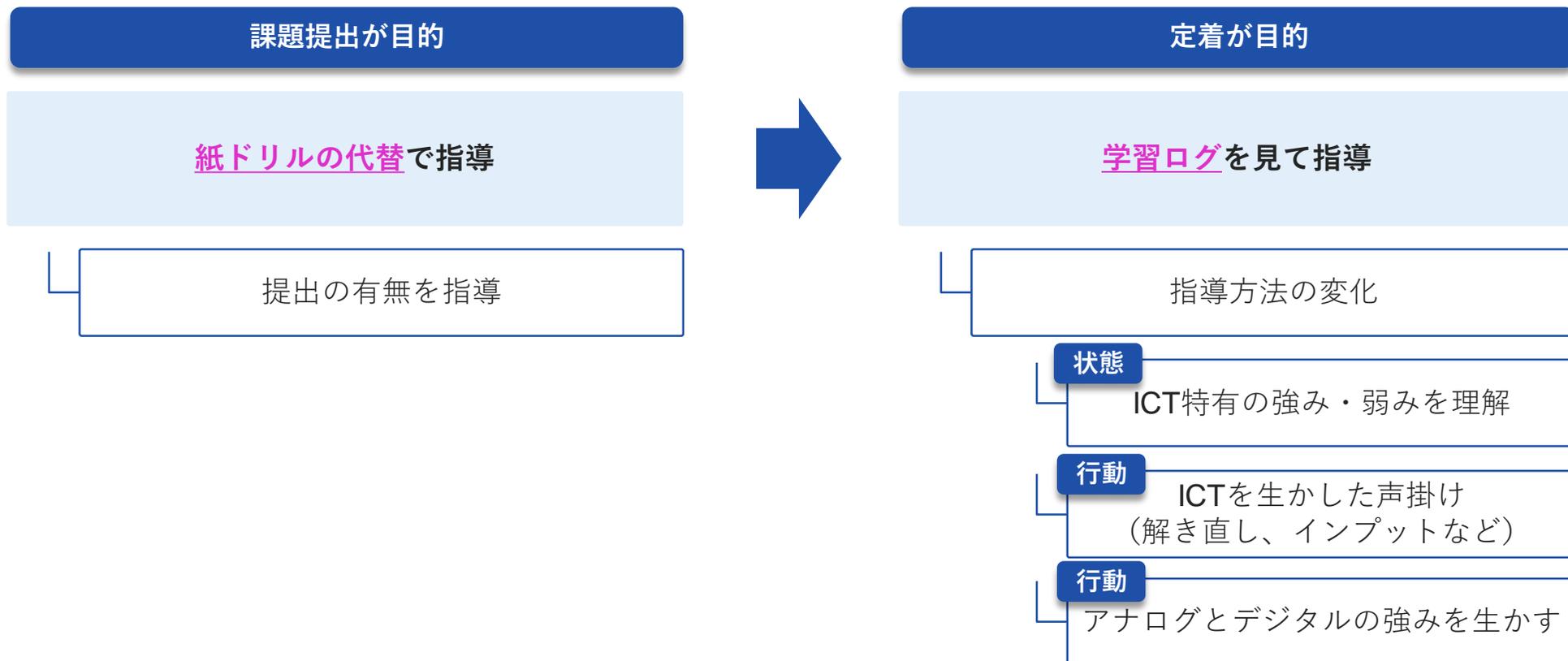
子供たちの学習に挑む姿勢を育成するステップについて

ICTを活用し、子供たちの学習に挑む姿勢を育成するにはステップがあります。



ICTを有効活用される先生の共通項について 課題提出（STEP 2）から定着（STEP 3）へ向かう指導の変化

定着を目的に活用することで、先生の指導内容が変わっていきます。今まで目が届きにくかった個人毎の学習ログを基にした声掛けの実施や、アナログ（紙）とデジタル（ICT）それぞれの強みを生かした指導を実施されています。



事例：ICTの具体的な活用事例について 指導に生かす学習データとは

学習データとは、学習内容をクラス・個人単位でチェックする事が出来るものです。提出状況や授業前の定着度確認はもちろん、個人毎の頑張りや学習の仕方などを御指導いただくときに活用いただいております。

学習データ内容の一例

課題の提出状況	クラス毎（問題毎）の 正答率可視化	初回正答率	解き直し回数
課題の提出時間 （深夜学習チェック）	クラス比較や 正答率ヒストグラム	最高正答率	個人毎の問題の 正誤

提出状況	配信内容	宿題設定	動画視聴 （インプット）	提出 講義数	100点の 講義数	初回の 点数
生徒名	提出状況	視聴完了 講義数	確認テスト 完了数	確認テスト マスター数	初回平均 正答率	
Aさん	提出済	1 / 1	1 / 1	1 / 1	100%	
Bさん	未着手	0 / 1	0 / 1	0 / 1	--	
Cさん	提出済	1 / 1	1 / 1	1 / 1	50%	
Dさん	提出済	0 / 1	1 / 1	1 / 1	0%	

1. ICTを有効活用される先生の共通項について

2. 事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について

3. 事例：ICTの具体的な活用事例について

事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について 吉岡町立明治小学校様について

ICT活用が順調に進んでいる明治小学校様を紹介します。ICT活用が学校全体で順調に進んでいる学校様になります。

吉岡町立明治小学校様・ご紹介いただく粕川教諭の概要

学校の概要

児童数：約600人のマンモス校

宿場町であった歴史から、活気のある子供たちが多い小学校

20～50代まで幅広い年齢層の教師が在籍

粕川教諭

前任校では中学で英語を、現小学校では国語・社会・理科などを御指導されている

明治小に2018年度着任、2022年度より教務主任を担当



事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について 明治小学校様におけるICT活用状況について

明治小学校様においては、複数の教材を活用しています。また、多くの教育関係者がICT活用状況を見学しています。

学習支援アプリの活用状況について

	個別最適な学び	協働的な学び	家庭学習	自律学習他
スタディサプリ	講義動画 確認テスト 単元テスト レベル別演習問題 受験対策講座	講義動画を活用した 反転学習	課題配信 フォローアップ配信 予約配信	学習ログ 活動メモ アンケート
ミライシード	ドリルパーク オクリンク ムーブノート	オクリンク ムーブノート	ドリルパーク	学習ログ
タブレットドリル	ドリル たしかめ フォローアップ チャレンジ		ドリル たしかめ フォローアップ チャレンジ	学習ログ
Google for Education	スライド ドキュメント	Google Jamboard Google スライド Google Classroom Google Forms Google Meet	Google Classroom Google スライド	学習ログ Google スプレッド シート ライフログ Google Forms 学習ポータルサイト

明治小学校様の組織内におけるICT活用ステップについて

明治小学校様においては、一部の先生の活用が広がることで全校活用になりました。

吉岡町立明治小学校様における活用を進めたステップについて

前提

ICTを導入時は、紙と鉛筆の方がいいという意見もあった（自身含み）

STEP
1

一部の先生が使い始め、**雑談の中**で共有が増えて行く
↳会議などで改まると、共有に向けたハードルが高くなる

STEP
2

子供たちの変化を目の当たりにして、ICTを活用する先生が増えて行く
↳ベテラン（指導力）と若手（ICT活用力）の先生同士による“教え合い”が進む

STEP
3

新しい**指導スタイルが磨かれ**、結果（CRTテストの点数UP）が出始める

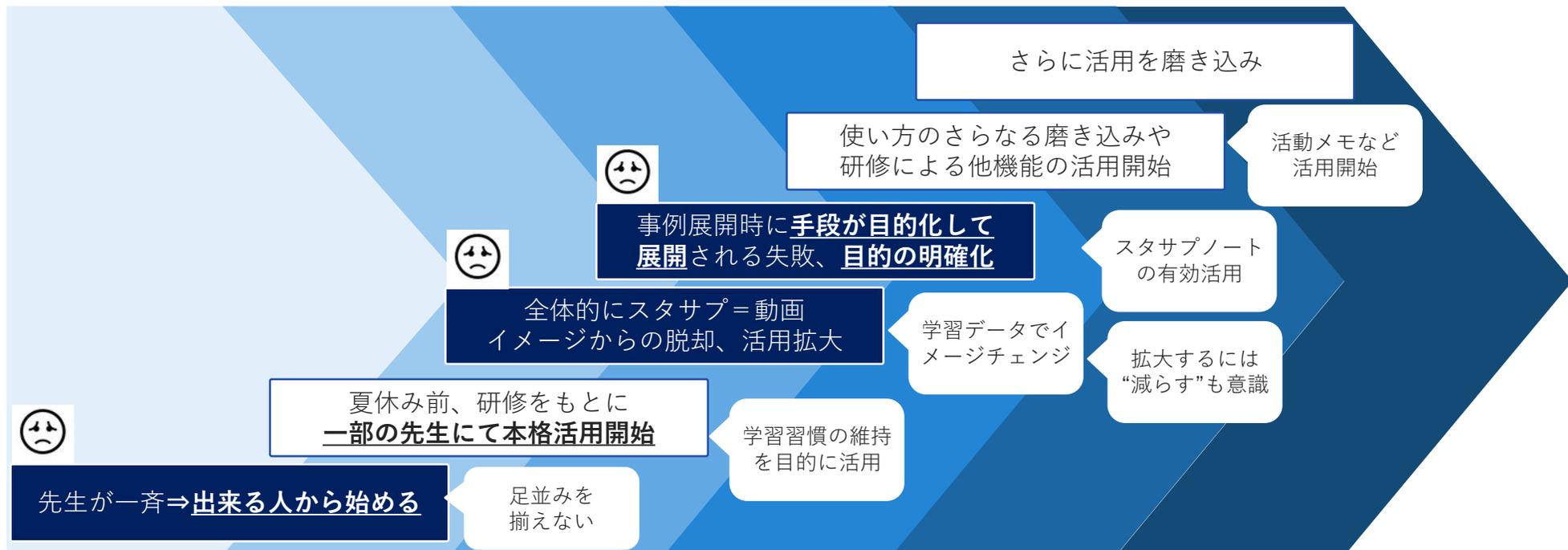
現在

日々新しい挑戦で指導をさらに磨きこむ（今年は3～6年の夏季休暇宿題をICT化）

事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について 校内における苦労したポイントについて

授業支援ではなく“学習支援”であるスタディサプリをうまく指導に生かすには、少し思考の切り替えが必用でした。良さを理解して使いだすと、どんどん活用方法が広がり磨かれています。

吉岡町立明治小学校様における活用を進めたステップについて



事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について 校内でICTを有効活用するメソッド

学校毎に活用内容は変わるため、学校の状況に合わせて取組みを検討することで有効活用につながる。ICTを活用することで、子供と話す機会が増えて、子供が変化したり、子供との関係性が良くなることを目指して取り組んで欲しいと考えます。

校内でICTを有効活用するメソッド

まずは挑戦してみる

学校の特性や環境に合わせて、**創意工夫ポイント**が変わる

ICTに何か置き換えられるかも？という視点を常にもつ

周りの人と試しながら**良いものを“真似していく”姿勢**でいる

ICTを活用して変わったこと

アナログ (会話、声掛け)の 質が向上を目指す

(学習ログをもとに) **個別に話す機会**が増える

担任じゃなくても、子供と話す機会が増えた

子供と**関係が良くなり**、子供が穏やかに見える

1. ICTを有効活用される先生の共通項について
2. 事例：ICT活用が進む”組織のあり方”について
3. 事例：ICTの具体的な活用事例について

指導時における具体的なICT活用の事例について

明治小学校様において担任及び6年生の算数を担当している藤井先生より、具体的な活用事例を共有いただきます。

ご紹介いただく藤井教諭の概要

藤井教諭

前任校でも小学校で指導

明治小に2021年度着任、2022年度より6学年主任

具体的な活用例

2021年度より 実施

①ICT活用でやりっぱなしにならないフォロー支援

②ハイブリット授業の実施
↳2クラス以上同時の授業実施

現在挑戦中

③子供の“諦めない”を引き出す別解の学びへ挑戦
↳別解を学ぶ時間の創出／子供たち自身が自分に合った解き方を模索する

ICT活用でやりっぱなしにならないフォロー支援

デジタル（スタディサプリなど）とアナログ（声掛け、プリント学習など）を組み合わせることで、より効果的な指導を実施されています。

子どもたちがやりっぱなしにならないフォロー

朝の宿題チェック

ICTだからこそ、**学習状況・学習ログをすぐにチェック**できる
↳紙での学習だと、採点などで時間が経ってしまう

授業反映と声掛け1

正答率が低い子供へは個別にメッセージ。その後、「スタサプで悩んだ個所のプリントだよ～」と苦手範囲をプリント学習で解き直し**※アナログとデジタルの使い分け**
↳紙を使うことで、途中式の確認・フォローを実施。

声掛け2と問いかけ

正答率を見て、**うまくいった（いかなかった）理由を子供たちに問いかける**。**先生に見られているという意識**が芽生えた結果、子供たちのスタサプ話題が増えて教え合いが始まる。

声掛け3

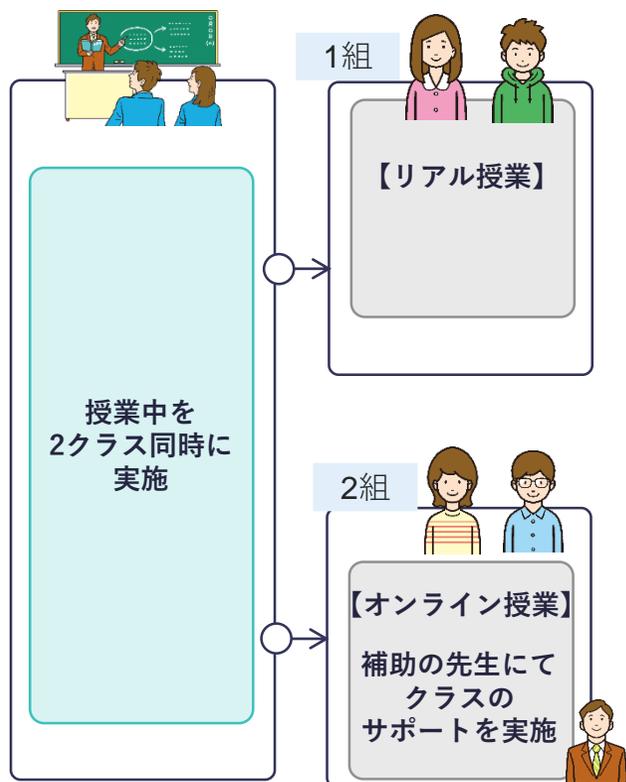
実施時間（深夜に学習している）や未実施の場合に声掛けを実施
↳学習ログで学習時間を確認

事例：ICTの具体的な活用事例について ハイブリット授業の実施

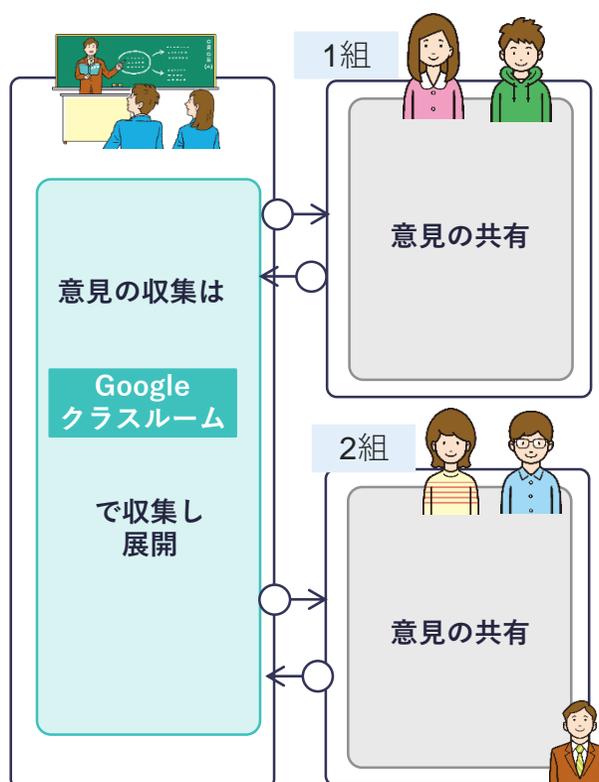
コロナ等で先生がお休みになった場合でも、ICTをフルに活用して子供たちの学びを止めない指導を実施。

ハイブリット授業の実施について

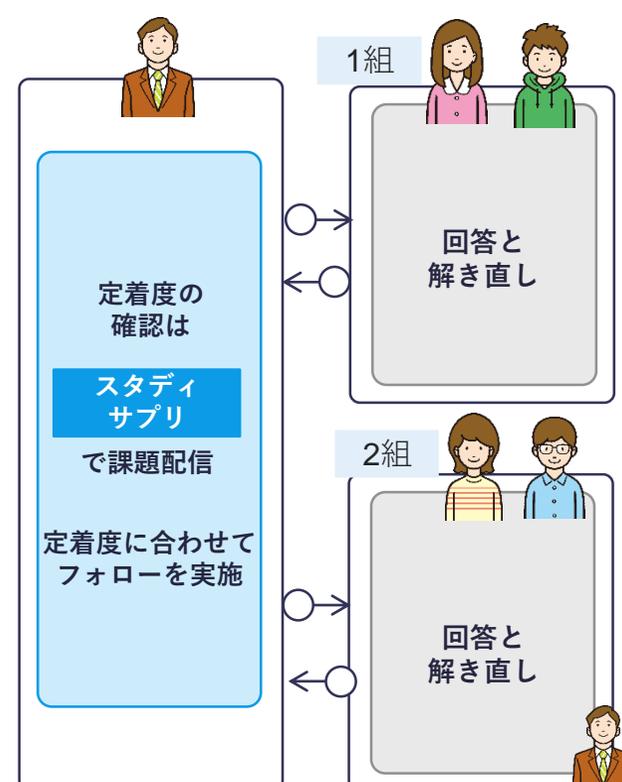
2クラス以上同時の授業実施



意見収集



定着度確認



子供の“諦めない”を引き出す_別解を学びへの挑戦

自身の指導だけではなく、スタディサプリで「別解」を一緒に学ぶ姿勢を取り、子供たちの主体的な（押し付けられていない）学びを創出。

子供たちの主体的な学びを引き出す別解を楽しむ取組み



別解を楽しむ時間創出に向けて、**授業内での演習時間を削減**
↳ 基本的な計算問題は**スタディサプリ**で家庭学習にする

押さえておきたい問題や、子供たちが苦手な問題はGoogle Jamboardへ回答
↳ **子供の解答を使って解説**を実施

単元の最後に、「たしかめよう」などの問題で取組む問題を指定
↳ 授業内で**解かせたい問題の時間は確保**

子供と同じ目線で一緒にスタディサプリを見て別解を学ぶ
↳ 視聴動画は指定するものの、**一緒に「見る」**
↳ 複数の解き方を学び、1度うまくいなくても**別の解き方でチャレンジ**する

- ・ 授業中でも「**違う解き方もある**」などの**発言**が出る
- ・ どうやって解いたのかを考えようとする**姿勢**の高まり
- ・ 出来なくても、**違う方法ならできたかもしれないという気持ちの変化**